

高速道路ネットワークを賢く使う取組 ～西名阪道等の料金の見直し～

平成26年7月

【提案要望先】 財務省、国土交通省

奈良県の提案要望

1 高速道路ネットワークの利用のあり方

- ・ 社会資本整備審議会 基本政策部会において「道路を賢く使う取組」が議論中
- ・ ネットワークを繊細に活用し、最大の効用を発揮することで既存道路のサービスレベル向上を図ること等が検討中

本県の課題を解消するため、以下の事項を是非実現して欲しい。

2 奈良県における高速道路に関する課題の解消

① 新名神高速の全線供用を見据え名古屋～大阪間の 適正かつ効率的な交通流の実現

- ・ 名阪ルートは名神・新名神ルートに比べ大幅な料金格差が存在
- ・ 名阪ルートに交通流が偏り、大型車を中心に多くの通過交通が流入
- ・ 名阪ルートにおいても、将来的に大規模更新が必要と見込まれる

⇒ 将来の大規模更新財源を確保する観点に加え、適切な料金施策の導入や大型車の適正な経路誘導などによる、交通体系の改善

② 西名阪自動車道の「無料～有料（短区間）～無料」の解消

- ・ (仮称)大和郡山JCTの完成により、京奈和自動車道と西名阪自動車道が接続し、奈良県待望の高速道路ネットワークが形成
- ・ しかしながら、短区間で割高な有料区間が発生(わずか約3kmで410円:普通車)割高な料金を嫌う車両が一般道を走行し、高速ネットワークを活かせない

⇒ 短区間で割高な料金を是正する「対距離料金の導入」実現

対距離料金の導入

香芝IC～天理ICに対距離料金制(普通区間)を導入

〔 阪神圏のシームレスな料金体系の導入は平成29年度当初
それまでは、当面の措置として 〕

(仮称)大和郡山ジャンクションの今年度供用に合わせ ネットワークを有効活用する料金の実現

大和まほろばスマートIC～天理ICに短区間利用を促進する料金を導入

① 交通体系の改善

名阪間の料金差
3,360円～4,390円
(大型車)

名神ルート
(一宮～吹田)
6,830円

新名神ルート
(飛島～第二京阪門真)
7,860円

有料
(対距離)

有料
(対距離)

有料
(均一)

無料

名阪ルート
(飛島～松原)
3,470円

② 「無料～有料(短区間)～無料」の解消



京奈和道・名阪国道～
大和中央道の
交通の流れの実現

要望区間

L=3.1km

L=2.9km

料金抵抗

料金抵抗

奈良公園方面への
交通流入を軽減

(仮称)大和郡山JCT
平成26年度供用

京奈和道～名阪国道
の交通の流れの実現

均一料金区間(410円:普通車)